

# 私たちの願い

組合員の皆さまから届いた「声」を紹介します。

429枚の声が届きました



2月に配付した「私たちの東都生協」  
(第48回通常総代会に向けた第1次議案書)

には、組合員の皆さまから多くの声寄せられました。その中から代表的な意見・要望をご紹介します。また、「声」に対する理事会からのコメントも書き添えています。今後、いただいた声を基に第48回通常総代会に向けて論議を進め、2022年度の活動と事業につなげていきます。

\*いただいた声は紙面構成上、一部要約しています。  
\*声の後ろの( )内は提出者の居住地域と年代です。



「私たちの東都生協」



いただいた「わたしの声」カード

## 組合員の声に応じて商品・サービスにつなげていきます

### 食の安全・安心

■ Non-GMO表示の厳格化に向けた取り組み強化や新マークの検討に期待しています。  
(杉並区/40代)



2023年4月に施行される食品表示法に基づく食品表示基準の「遺伝子組換え表示制度」の変更に合わせ、4つの新マークを設定し運用します。組合員の皆さんにとって、より分かりやすく、誤解が生じないように、新マークに変更する前には、商品案内「さんぼんすぎ」で広報します。

■ 遺伝子組換え食品、ゲノム編集食品など安全を脅かす問題について、法案ができて通ってもずっと声を上げる。日本の食のレベルを、せめてヨーロッパのレベルにし、安全な食品が普及する社会を作る。そのために安全な生産者をより応援する。  
(江東区/40代)

■ 安全・安心な食品を選定していると思います。一般消費者には見えない種子や農薬のことなどの情報提供をよろしく。不必要な包装も減らしたいですね。  
(世田谷区/70代)



東都生協はこれからも食の安全を追求し、産地・メーカーと共に対応していきます。内容によっては、他生協とも連携して対応します。食に関するさまざまな情報を見極め、科学的見地に基づいた情報提供を行っていきます。

■ 現在、私が一番関心を持っていることは遺伝子組換え食品です。全て人間の体を壊す原因だと思っています。ぜひ東都生協には考えていただきたいと願っています。  
(練馬区/80代)

■ 遺伝子組換え作物(種子)、加工品は不安。日本の子どもたちが心配。  
(足立区/70代)

■ 2023年4月以降に「遺伝子組換えでない」表示をする際、5%混入が認められなくなると、表示できる商品数が非常に少なくなり、価格も高くなるのでは？5%混入か50%かわからなくなるといことでしょうか。  
(小金井市/無記入)



遺伝子組換え作物の商業栽培が始まって27年が経ちました。分別生産流通管理された非遺伝子組換え作物(加工食品の原材料や畜産飼料)は、調達が困難になっています。分別管理された大豆ととうもろこしは、これまで遺伝子組換えの混入率が5%以下であれば「遺伝子組換えでない」との表示が許容されていましたが、今回の改正では「不検出(遺伝子組換えの混入がないこと)」が条件となり、厳格化されました。このため、全ての生産流通段階で遺伝子組換えの混入がない「不検出」が証明できなければ、分別管理された原料を使用しても、多くの商品で「遺伝子組換えでない」という表示ができなくなります。このため、これまでのような分別管理の有無を前提として、

今後も取引先に協力いただきながら、できる限り遺伝子組換え作物の使用状況が分かる案内に努めていきたいと考えています。価格変更については、今回の改正よりもコロナ禍による需給バランスや物流網の乱れによる、原材料、資材、人件費や物流費の高騰が大きな要因です。

### 安全・安心な商品づくり

■ 安全で子どもにも優しい味付けになっています。冷凍食品も安心して使っています。お弁当にも使いやすい。  
(横浜市/40代)

■ 環境に配慮した魅力的な商品が多いと感じます。重たいものを含め、日用品なども安定した供給をしていただけることに感謝しています。産地の紹介やエピソードを読んで選ぶのが楽しく、店舗と比べて周りに気を遣わずに済むため長く続けています。  
(台東区/40代)

■ アイガモロボ使用の有機米はおいしい。いい取り組みです。  
(板橋区/60代)



ありがとうございます。今後ご満足いただけるように努力します。有機栽培米の最大の課題は、田植え後3週間の除草です。これを乗り越えられれば栽培面積が増え、価格の引き下げにつながるものと考えています。アイガモロボは太陽光パネルの電源で動く、環境に優しい農業用機械です。その点でも普及させたいと考えています。



## 試食イベント車で食育活動



試食イベント車

- 試食イベント車、素敵ですね。新型コロナウイルス感染拡大が収束し、企画で拝見するのを楽しみにしています。(世田谷区/30代)
- たくさん走らせてほしい。都心だけでなく多摩、埼玉、千葉、神奈川もぜひよろしくお願いします。(福生市/40代)
- 「試食イベント車の活動」の感動体験報告を楽しみにしています。(足立区/70代)
- コロナ禍で試食イベント車は活躍できるのでしょうか。試食もできないし、「商品が良く、安全ですよ」といったアピールも、一般の方に届くのかなあと思います。(調布市/40代)
- 試食イベント車について、もっと詳しく説明してほしい。(新宿区/70代)



試食イベント車は移動できるキッチンカーの特徴を生かし、組合員や活動団体が集まる場、地域のイベントなどにお伺いして、試食をしながら食と農の現状を知る食育活動を想定しています。新型コロナウイルス感染拡大の収束状況にもよりますが、今年5月からの本格稼働に向けて準備を進めています。活動の様子や予定をお知らせする方法も工夫していきます。

## 宅配をもっと便利に

- 一家そろって新型コロナウイルス感染症に罹患してしまい、1カ月近く外出できなくなりました。その時に、注文したことのない冷凍食品を注文して食べる新たな楽しみを見つけました。おいしいものが届く楽しみがあったから、巣ごもり生活を乗り越えられました。(福生市/40代)
- 子どもが急にオンライン授業となることがあるため、すぐにお弁当の準備ができるように、冷凍食品は切らさずに対応しています。ふりかけ、お茶漬の素などの品数や注文回数を増やしていただくと利用しやすい。(世田谷区/40代)



今後もコロナ収束の見通しが立たない中、自宅で簡単に調理できる商品の品ぞろえを強化していきます。ふりかけやお茶漬は、一般的に「調味料(アミノ酸等)」が使用されている商品が多いため、品ぞろえに苦労するところですが、ご要望にお応えできるように調査を進めます。

- 共同購入を利用しているのですが、全ての商品が混ざっており、振り分けが面倒です。家庭ごとの箱になっているとありがたいのですが。(西東京市/50代)



共同購入班での個人別セットについては、セットセンターでの作業工程、コスト面、供給時の作業増など、あらゆる要件を含めて検討します。

- もう少し商品を丁寧に扱ってください。青果品がぶつかったりひっくり返ったりして、果物や野菜の作り手がかわいそうです。(渋谷区/無記入)
- 緑色の袋になってから、提出書類が1部残されていたのが心配です。入れ方がまずかったのかもしれませんが、中身の確認をお願いしたい。(板橋区/無記入)



ご迷惑をおかけし申し訳ありません。供給担当者への指導をさらに強化し、業務品質を高め、組合員の皆さまから信頼されるような生協を目指して取り組んでまいります。

## 品質・おいしさ優先の商品づくり

- さまざまなものが値上がりしていますが、東都生協には何よりも安全性を優先していただきたいと思っており、多少の値上げは全く問題ありません。価格を維持するために、品質を下げることは避けていただければ幸いです。(世田谷区/40代)
- 友達に「商品も見ないでよく注文できるね」と言われました。私は信用していますが、伸びすぎて硬い小松菜や小玉の玉ねぎが届いた時はがっかりします。値段は少々高くてもいいので、最高の品質の物を購入したい。気に入らなければ、二度と注文したくなくなります。(世田谷区/80代)
- 食の安全がいわれる今、生協の本質を失わないで頑張ってください。(江東区/80代)
- ECOマルや被災地ボランティアの募集など、いいなぁと思うことが増えました。いいことはどんどん発信してほしいです。(墨田区/50代)



失望されることがないように、品質・おいしさにこだわった商品をお届けします。産直産地へのお気遣い、ありがとうございます。産地を元気づける企画として、ECOマル(電子メールを使った余剰青果物の新たな購入の仕組み)や産地応援商品、LINEによる産地の作柄情報の発信などを展開しています。引き続き多くの方に支持していただけるように努めます。

## 地域社会への貢献

- また子どもと参加できるイベントが増えるといいなぁと思います。コロナ禍で困った家庭や事業者を助ける取り組み(商品特集・フードロスなど)があるとよい。(北区/40代)



組合員から寄せられた「未来につなぐ募金」を活用して、コロナ禍による影響を受けた家庭も含めた困窮者を支援している団体に食料を助成しています。また、フードロス削減・生活困窮者支援を目的に、地域で活動しているフードバンク9団体と連携して、供給時のフードドライブに取り組んでいます。取り組みは今後も継続・拡大していきますので、ぜひ「未来につなぐ募金」にご協力ください。コロナ禍で困難に直面した事業者への支援はまだ不十分ですので、取り組めることから実行します。

- 「コロナ禍によるコメ余りで産地が深刻」とありましたが、必要な子ども食堂やコロナ禍に苦しむ方々に寄付を募る取り組みはありますか。もしあれば参加します。(豊島区/50代)



東都生協では2017年度から「誰もが健康で安心して暮らせる地域社会の実現を目指す活動(団体)に対して、東都生協の商品に換えて助成する仕組み」として「未来につなぐ募金」に取り組んでいます。2021年度はこの募金を活用して子ども食堂・フードバンク・無料学習塾など貧困問題に取り組む40団体に、年間助成額の上限となる5,650,000円分の東都生協商品を提供しています。継続的な支援を進めるためにも「未来につなぐ募金」へのご協力をよろしくお願い致します。

### 東都生協 「未来につなぐ募金」

OCR注文書の裏面下段、特別企画注文欄の「商品(申込)番号」の欄に6ケタ番号と募金口数を記載してお申し込みください。インターネット注文、スマートフォン用注文アプリ「スマ注」、FAX専用注文書、電話注文センターでも受け付けています。

◆1口:200円⇒商品(申込)番号[365920]  
※通年で受け付けています。

## 環境に配慮した事業活動

- 一人でも続けているのですが、商品案内や供給用のポリ袋も回収・リサイクルしていることをもっと多くの組合員に広めたい。(足立区/50代)
- 娘家族との2軒での共同購入ですが、娘はインターネット注文のため毎週の商品案内と注文書も一目も見ないうちに廃棄しています。ごみ削減やSDGsの観点からも、不要な商品案内などは初めから配達しないでほしい。(荒川区/60代)
- SDGsからもコスト面からも、商品案内を大量に刷って使い捨てる仕組みを改善してほしい。紙の商品案内は必要なのでしょうか?定番商品は月1冊で4週使えるようにしてほしい。プラスチック包装や使い捨てのワンウェイびんを減らしてほしい。(無記入/無記入)



商品案内・注文書が不要な方に配付しない仕組みは、注文状況と注文書の印字とを関連付けている現行のシステムでは対応できず、新たなシステム開発が必要となります。同様の声をいただいております。課題として検討を進めます。商品案内は回収して古紙再生事業者に販売していますので、通い箱などと一緒に提出ください。

## 持続可能な社会に向けて

- 脱原発、再生可能エネルギーの推進に同意し、期待しています。(新宿区/50代)
- 脱原発のためには電気の使用について考えなければならないと思っています。室内スキー場など東京近郊のレジャー施設の電力を極力減らした方がよいと思う。(足立区/50代)
- 加入を決めた第一は脱原発への対応でした。チェルノブイリ原発事故の経過を見ても、福島第1原発事故当時の子どもたちへの影響が案じられます。(川崎市/80代)



福島第1原発事故が収束せず、放射性廃棄物の処分や安全対策など数多くの問題を抱える原発からは速やかに撤退する以外ありません。一方で地球温暖化への対応は喫緊の課題です。気温上昇を1.5℃以下に抑えるためには、CO<sub>2</sub>など温室効果ガス排出量は2030年までは半減、2050年ゼロが必要とされます。家庭からのCO<sub>2</sub>排出は電力が45%を占めます。家庭の電力を再生可能エネルギー由来に切り替えることで、CO<sub>2</sub>の約半分を削減できます。東都生協では再生可能エネルギー比率の高い「みんな電力」の普及を進めます。併せてくらしの在り方を見直す学習など、持続可能な社会の実現に向けて行動します。

## 「東都生協からのご案内」を使いやすく

- 「東都生協からのご案内」の紙が大きくなったが、小さい方がよい。処分の時、可燃ごみにするには大きく、資源ごみに出すには名前が入っている。その部分を切り取って資源ごみにしている。商品交換やコールセンターの電話番号などは、保存版があればいいのでは。(無記入/無記入)
- 「東都生協からのご案内」は以前のように返品伝票を切り離して提出できるタイプにしてほしい。家計簿代わりにしており、いちいちコピーしています。(調布市/80代)
- 「東都生協からのご案内」が使いにくすぎます。改善してください。(新宿区/60代)



「東都生協からのご案内(本日の納品書兼請求書)」へのご意見は真摯に受け止め、今後の改善につなげます。商品交換やコールセンターの電話番号などのインフォメーションは、余白の有効活用策として、余白が発生した方のみに掲載しています。



# 東都生協の活動・事業に生かしていきます。

## もっと利用しやすい夕食宅配へ

- 出産前から利用させていただいています。産後のバタバタな時にもちゃんと食事が取れ、かつ、おいしくお手頃で大変気に入っています。作っていただいている方、このようなサービスを作ってくださいの方に本当に感謝しています。オンラインでの注文変更が少し分かりづらい。(墨田区/30代)
- これからは配食事業も大切だと思います。私も将来的には依頼したいと思っています。できるだけ利用しやすい仕組みにしてください。(大田区/無記入)
- お弁当は週3回以上でなく、採算が合わないと思いますが、通院などの時、本当に疲れるので、気軽に頼めたら良いなあと思います。(立川市/80代)



夕食宅配のインターネット注文システムについては、さまざまなお意見・ご要望をいただいています。利用しやすい仕組み作りを目指し、2022年度内にシステム改修を予定しています。もうしばらくお待ちください。現在、週3食以上であれば1日だけのご利用も可能ですが、お1人分となると、週の3回のご利用が必要です。組合員の声を生かし、利用しやすい仕組み作りを進めます。

## 広報について

- ホームページにイベントサイトのようなページがあれば若い人も見るのでは」という声がありました。同感です。(小金井市/無記入)
- 私は第3地域、娘は第5地域で、なかなか一緒に学習会に参加できないため、一緒に参加できる企画があったら良いなあと思う。(豊島区/60代)
- ブロック、地域にこだわらず、企画などに参加できるシステムを考えてほしい。(板橋区/無記入)



オンライン企画が増え、参加者の地域限定がない企画が増えています。集会型の企画も、ホームページ「イベント・企画のご案内」では地域の方を優先する場合がありますが、全域から参加者を募っています。4月より全地域の「地域版フォ」をホームページに掲載予定です。今後は、参加者の地域限定がある企画はその旨を記載し、紙面やホームページのどちらも同じように情報提供を行います。

## みんなで進める食の未来づくり

- 天候異常などで苦しむ生産者の方々に支援する方法を提案してください。できる形で協力したいと思います。(港区/60代)
- 食の未来づくり運動について本当に考え、日本の農業を応援していかないと国産の物など食べられなくなるのではないのでしょうか。少しでも生産者を応援していきたいと思っています。(西東京市/50代)



学校給食が休止となる春休みや大型連休に、牛乳の需要減少・供給過剰に直面する生産者に寄り添う企画として、牛乳の利用促進を実施しました。こうした産直を支える産地・メーカーを「食べて応援」する取り組みは継続して実施していきます。一人でも多くの方に参加いただけるように、食の未来づくり運動では「利用して日本の農業を応援」「生産者との交流、生産の支援」「持続可能な社会に向けた仲間づくり」を行動目標に掲げています。コロナ禍で対面での交流が制限される中でも、産地・メーカー動画や料理レシピの配信、オンライン企画などさまざまな工夫により、学習・交流の機会を設け、商品のこだわりを丁寧に伝えながら、地域に運動の輪を広げていきます。

## 平和の尊さ・命の大切さ

- ウクライナに対し、募金など協力を検討してください。(世田谷区/70代)
- ウクライナ侵攻で世界が揺れていきます。「戦争を起こさない!」という方向を明確に伝えていきたいと思えます。影響が大きく心配です。(台東区/60代)
- 独裁者のいる国々での戦争・内戦により、多くの人々が大変な目に合っています。生協として何か取り組んでいるのでしょうか。(練馬区/90代)



ロシアによるウクライナ侵攻では無差別攻撃が続き、子どもを含む多数の死傷者が出ています。東都生協は、国連憲章と国際法に違反する侵略行為として強く抗議し、軍事行動の即時停止と無条件撤退を要求する声明を発表し、ロシア政府に抗議文を提出しました。また、命と生活が脅威にさらされているウクライナの方々を支援するため、緊急募金を実施しています。募金は、国連WFP協会を通じ、ウクライナ国内、また近隣諸国へ避難しているの方々への食料支援に活用されます。皆さまのご協力をお願いします。

### ウクライナ緊急募金

募金は、注文書、インターネット注文、電話注文などで受け付けています。  
【受付期間】2022年8月26日(金)まで  
【募金方法】注文書の特別企画注文欄「商品(申込)番号」に6桁番号「365947」を記入し、「数量」欄に募金の口数をご記入ください。1口200円です。

- コロナ禍だけでなく、ロシアのウクライナ侵攻による対ロシア制裁で、エネルギーや食品の輸入に多大な影響が生じ、他国への依存度が高いことがいかに危険であることが痛感しています。自給自足と再生可能エネルギーへのシフトは急務であり、産地やメーカーの方々に応援する東都生協の取り組みは素晴らしいと思います。(江東区/40代)



ロシアのウクライナ侵攻は、両国で輸出市場の3割を占める小麦などの食料価格、資源・エネルギー価格の高騰に拍車をかけ、暮らしへの大きな影響が想定されます。日本の食料自給率は37%と史上最低を更新し、コロナ禍や度重なる自然災害で、輸入依存や脆弱な生産基盤の現状が露呈しました。将来にわたって食と暮らしの安定を確保するには、産地・メーカーとの関係強化が不可欠です。何を選択し、その先に何を望むのか、私たち一人ひとりが消費行動で示していくことが重要です。併せて日本の農業や国産の大切さを理解し、一緒に支えていく仲間づくりが必要です。

## 職員の働き方と労働条件の整備に向けて

- 供給担当者の待遇が良くないと聞いたことがあります。供給担当者はエッセンシャルワーカーです！みんなで作る生協の一員として尊重し、持続可能な生協を作るためにも、待遇改善を事業計画に入れていただきたいと心から思っています。(渋谷区/50代)



東都生協の正規職員の労働条件は、年間休日120日、1日の所定労働時間は7時間と全国の生協の中でも高い水準となっており、他生協と比較して年間稼働時間で30日~20日少ない状況です。45歳以上の正規職員では、前述の労働条件下でも所定内賃金が都内で高い水準を維持しています。また、これまで社会保険料の自己負担を3割として7割を東都生協が負担する待遇も1991年から維持してきました。一方で、

供給常勤嘱託職員(供給専門職員)や若手正規職員(30歳以下)の所定内賃金は、決して高い状況にありません。このため、今後を考えた場合には、正規職員の年功序列型賃金制度などの高い労働条件の見直しを含めて生産性を向上させ、供給常勤嘱託職員や若手正規職員の賃金改定、Web注文システムの改善や人材育成への投資、デジタル技術対応や自然災害などの危機への備えができる事業構造にしていく必要があります。併せて、職員が東都生協での働き甲斐を高める人事制度整備を進めます。今後の東都生協にとって人づくりは重要な課題となっており、配送委託先と連携した業務品質の向上を含め、職員の成長につながる教育研修を継続的に進めていきます。

## 組合員同士の助け合い・コープ共済

- 90歳代で加入できる掛け捨ての保険などを探しています。(府中市/90代)



90歳代の方を対象とした保障では「コープのケガ保険」があります。

(株)東都ライフサービス窓口  
0120-17-7625

- 70歳からでも入れる格安な医療保険があれば助かります。(無記入/無記入)



満70歳まで申し込みできるコープ共済は、「あいびらす」「ずっとあい」があります。それ以上の年齢の方には、コープの三大疾病保険(満84歳まで)、「コープのケガ保険」があります。

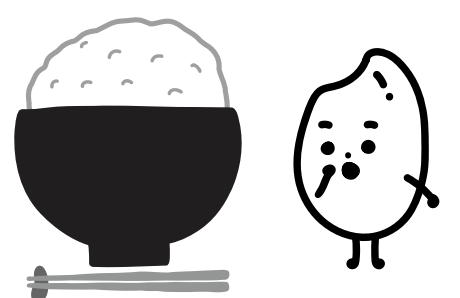
コープ共済センター加入・契約に関する窓口  
0120-50-9431

## 学習会などへの要望

- コロナ禍で集会型の開催は難しいと思うので、オンラインセミナーなどに興味があります。(世田谷区/60代)
- 食品添加物の学習会にまだ参加したことがないので、次回、開催されたらぜひ参加したい。(杉並区/40代)
- 高齢ですが、学習会・講習会には参加したいと思えます。パソコンは苦手なのでオンラインは無理かも。(川崎市/70代)
- コロナ禍が一日も早く収束して安心して興味のある学習会などに参加できれば良いと思います。(中野区/50代)



いただいた要望は2022年度の活動で実現していきます。参加の広がりを見せているオンライン開催はこれからも続けます。講師の了解が得られれば、見逃し配信も行っていきます。集会型を希望される方には、感染対策を徹底した会場開催の他に、オンライン学習会をサテライト会場で視聴する分散開催などの形も考えていきます。「オンラインが苦手」という方には、まずは会場での動画共有サービス「YouTube」視聴やWeb会議ツール「Zoom」の交流体験ができる機会を作っていきます。





## 組合員活動が直面する課題

- と一と会の手続きをもう少し簡単にという意見がありました。サークル活動の手続きをもう少し簡単にしてほしいと思います。(品川区/60代)



「手続き書類が多く大変」という声がある一方、「組合員の大切な活動費なのだから一定の書類作成はあって当然」という声もあります。少しでも分かりやすく、誰もが参加しやすい形を考えていきます。

- 組合員活動あつての東都生協と思っています。コロナ禍で思うような活動ができない中、どんな活動ができるのが課題となっています。(武蔵野市/60代)

- 今まで集会型のイベントや学習会で地域の組合員と交流してきましたが、生活スタイルの変化などで難しい状況になり、ネットを利用する方法もありますがブロックで企画する必要がありますのかが分かりません。(日野市/50代)



コロナ禍でもブロックニュースを発行し、組合員と双方向のやり取りを行っているブロック委員会もあります。集会型の活動も感染防止対策を取れば開催は可能です。オンライン型に挑戦するなど、これからの活動をぜひ工夫してみてください。

- 以前はブロック活動もしていましたが、コロナ禍で出る機会を失ってしまうと、再始動が難しくなるように思います。(大田区/無記入)



生活環境の変化などにより、活動に参加できなくなる方も多いかと思われます。「空いた時間に少しでも関われる」、そうした参加方法もあればと考えています。久しぶりに参加したときでもすぐに解け込める雰囲気づくりも大切です。

- かなり昔、ブロック委員会で活動していました。女性・男性に関わらず、仕事やいろんなことで昔のように活動の輪が広がらないのは仕方がないのかもしれませんが、オンラインの活用などを進めたり、コロナ禍が落ち着けば職員さんとの一言交流などもできるとよい。(荒川区/60代)



さまざまな生活スタイルの組合員が参加・参画できる活動のあり方を追求し、関わる人の裾野を広げていくことが必要です。オンラインの活用はもちろん、紙面も使って組合員同士、産地・メーカー、職員とのつながりを絶やさない工夫をしていきます。

- ブロック活動が思うようにできずさみしい。ブロック委員をやる人も減ってきて今後どうなるか不安。もっと、大きな団体でも良いのではと考えます。(中野区/60代)

- 商品を購入することが目的の人と、活動が大切と思っている人との溝が埋まらないのが残念です。私も、仕事や介護の役を持っていて、なかなか活動に参加できずにいます。(多摩市/70代)

- ここ2年余り活動ができずモチベーションが下がり気味です。新しい組合員活動ができれば良いと思います。(杉並区/50代)

- ブロックにとられない参加の仕方を考えていきたい。(世田谷区/60代)

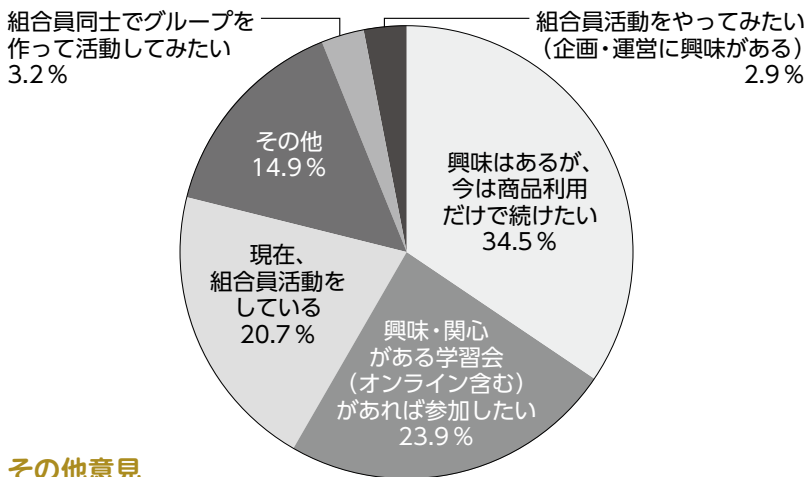


生活スタイルの変化から、ブロック委員会としての活動が現状に合っていないのかもしれませんが。無理なく参加しやすい新しい組合員活動のあり方をみんなで考えていきましょう。商品を購入することも大切な活動参加です。組合員一人ひとりの生活環境・暮らし方が異なる中で、1人でも参加できるように企画・活動を目指していきます。

たくさんのメッセージありがとうございました!



## 東都生協の組合員活動について



### その他意見

- いつも、その度、初めての人でも参加しやすい活動内容をコンスタントに開いてもらいたい。(八王子/60代)
- 共働きも多い中で平日開催が多すぎ、参加しにくい。(渋谷区/無記入)
- 組合員活動を知りたいが、どこに情報が載っているのか分からない。(武蔵野市/無記入)
- 食材中心にこれからも利用したい。(あきるの市/70代)

## 供給担当者へのメッセージ

- コロナ禍の中でも着実な供給、ありがとうございます。生活に安心感を持てます。(練馬区/40代)
- 週に一度必ず届くという安心感、とてもありがたい。買い物に出る時間を削ることもでき、生活が効率的になっていると思います。(北区/40代)
- いつも丁寧にありがとうございます。センターの皆さまの支えのおかげだと思います。車の運転、重い荷物に気を付けて、これからよろしくお願いします。(国立市/50代)
- いつも細かい心配りをしてくださり感謝しています。息子は担当さんが大好きで、お会いできると大喜びします。(世田谷区/30代)
- 届けていただく日に点検などでエレベーターが動かない時があり、階段で重いものを届けてくださる時は申し訳ない気持ちになります。(草加市/80代)



いつもご利用いただきありがとうございます。お寄せいただいた思いは、供給担当者や配送センター・コールセンターとも共有します。こうしたお声は、従業員の気持ちに張りを与えます。これからもより一層組合員の皆さまに喜んでいただけるように、笑顔で商品をお届けします。

## 第2回総代会議報告

3月25日～29日に集会型5会場、オンライン型で5回開催しました。説明動画を視聴し、声カードで意見を出す方法なども取りました。総代の皆さんは第3回総代会議(6月初旬開催)を経て、6月16日(木)の第48回通常総代会に出席し、議案を審議、決定していきます。

### 出席総代からの声

- 知識も学習も活動も豊富な組合員の意見に触れることで、触発されることが多々あります。その時の会場全体の感じなどは実出席でないと分からない気がしています。
- オンライン会議だと、発言が他の参加者にどのように伝わっているかが分からず、独り相撲のような感じが否めない。やはり集会型が良い。
- 楽しく活動されている様子が動画で観られて良かった。そして東都生協の取り組みの幅は、かなり広いと知りました。
- 組合員活動では、同じ悩みや共感できることも多く、またそれに対してアドバイスをいただけたりと励みになることも多かった。

- 今回は動画視聴で参加しました。会場に行くのはちょっと面倒と思っていましたが、こんな形での参加ならできると思いました。ただ、意見を直接聞けないのはやっぱり物足りないかな。
- 直接会場に行かなくても、空いている時間に家で動画を見ることができるので、とても助かります。



## 2022年度 第48回通常総代会までのスケジュール

総代会は、組合員から選ばれた代表=総代(定数550人)が、1年間のまとめと次年度の活動方針・事業計画などを決める大切な会議です。

4/25～29  
「私たちの願い」  
([わたしの声]を集めた意見集)  
全組合員に配付

総代会議案の確定

6/16  
第48回 通常総代会  
(総代が出席)  
総代会の決議内容を全組合員に報告

## 第48回通常総代会傍聴について

第48回通常総代会については、開催の予定で準備を進めていますが、傍聴の受け入れは「中止」とさせていただきます。皆さまの健康と安全確保のため、何とぞご理解いただけますよう、よろしくお願いいたします。